第17回 ネットワークミーティング in 広島

NWM新聞

晴れルヤ！

第十七回ネットワークミーティング（NWM）を二〇〇九年九月二十・二一日の二日にわたり、岡山県備前市にある閑谷学校で開催した。参加者はのべ百二十五名で、北は札幌教区、南は鹿児島教区までの十四教区から青年が集まり、お互いの信仰生活や青年活動について情報交換をし、交流を深めた。今回、那覇教区からの参加がなかったのが、とても残念だった。

NWMの趣旨は「カトリック青年同士の情報交換と交流」。具体的なプログラムは準備をする実行委員会が決める。今回、準備を担当させていただいたのは広島教区の青年だった。実行委員会ではまずテーマを決めた。テーマは「晴れルヤ-心を晴れやかに-」。会場となった岡山県のキャッチフレーズが「晴れの国」で、それに「神を賛美せよ」という「ハレルヤ」を掛けた。参加した人たちが、今社会で起きている出来事（問題）を正面から見つめ、それについて一信仰者として考え、社会の中でアクション（行動）を起こせる勇気を、祈りのうちに神様から頂こうという熱い想いのもとに付けた。

会場となった閑谷学校は「論語を通して、社会をリードできる人間を育てる」という精神のもとに設立された学校である。我々スタッフはその設立精神と今回のNWMで伝えたい事とが相通ずると思い、プログラムの中に論語を学ぶことを入れてみた。実際、論語（儒教）というカトリックとは違う視点から自分自身を見つめられる良い機会となり、参加者からは「カトリックのアイデンティティというものを考えられた」という声があった。

その他にも閑谷学校が自然豊かなロケーションにあったため、竹細工・キャンプファイヤー・BBQもプログラムに入れた。参加者は童心に帰り、心を洗浄して晴れやかになっていた。（二・三面参照）

また、今回のNWMは史上初のキャンプ形式で、参加者は自らの寝床（テント）を作った。こうした経験は今の日本の中では滅多にできない。そんな滅多にできない経験を共に経験した仲間がいる。同じ信仰で結ばれた仲間でもあり、一緒に寝食を共にした兄弟姉妹のよう。今回に限らず、どのNWMでも同じように兄弟姉妹を発見することはできる。信仰生活に不安を抱えたり、一人で悩むことがあったら、是非ともこのような兄弟姉妹を見つけにNWMに参加して欲しい。

実行委員長　西川　基之

NWMとは

目的：情報交換と交流

カトリックの青年、青年の活動を支えている信徒・修道者・司祭が自由に集い、そこで今かかえている問題や信仰のこと等を分かち合い、交流する場である。そして、いろいろな地域の青年や活動している青年と出会い、情報交換の場である。

晴れてよかった！！野外ミサ

今回のNWMは、自然に囲まれた閑谷学校のキャンプ場が会場ということで、野外でミサを行いました。実は、当日の天候をかなり心配していましたが、さすがは「晴れの国」岡山だからか、信仰の力のおかげか（？）、見事に好天に恵まれました。

ミサの内容は、概ね祝日ミサに沿って進めましたが、ぜひやりたいと思ってプログラムに入れたものがあります。それは奉納の時に、NWMのシンボルを各班で考えて、奉納するというものです。

どんなシンボルが奉納されるか、期待と不安で胸を膨らませていましたが、みなさん（意外と！）真剣にシンボルを考えてくれたおかげで、素晴らしい奉納になりました。シンボルを考え、形にすることで、みなさんの心に残るものがあったんじゃないかと、勝手に自負しております。

奉納以外にも、食事班が聖体拝領のためのパンを手作りしてくれたり、平和のあいさつでメッセージ交換をしたりと、ミサを全員で作り上げることができ、良いミサになりました。

典礼班：末長伸一

テント建て上手かったし早かった

今回のNWMの会場は、「閑谷学校」と言う所を使用させて貰いました。因みに、この学校は岡山藩主、池田光政によって作られた世界最古の学校です。NWMに参加した方は分かると思いますが、講堂学習で使用した講堂は国宝に指定されています！（その中で正座して論語を学んだのさ！貴重な経験ですな！）

テント設営の様子

NWM 広島の活動拠点となったのは、講堂から約 1km 離れた閑谷学校付属のキャンプ場でした。そこで、今回はキャンプ形式ということで、テントを建てて寝ました。講堂学習が終わり、本館からキャンプ場に移動が完了し終えると、自分達が寝るためのテントを建てる為の説明が行なわれた。説明を受ける場は比較的広く、説明用の模擬テントが置かれており、閑谷学校の指導員の方の説明を一通り受け、その後自ら立てるというものだった。

無事に建てられるのかと言う心配もあるだろうが、テントを建てている間、指導員の方や、事前に建て方を練習しているスタッフがキャンプ場内にいた。四方から、参加者の笑い声、質問する声などしきりに聞こえ、暑い中ではあったがとても楽しそうな声が聞こえてきた。暑い中ご苦労様でした。m(_ _)m

しかし、一番驚いたのは参加者の技量である。大体の人が的確にポイントを抑えていたので予想以上に早くテントが終了した所の人たちは、遅れている所があれば手伝いに行ったり、空いた時間を利用して少し休憩したりと、皆、思い思いの時間を過ごしていた。

暑い中、大変だったと思うが、良き思い出になっている事を願っている。

会場班長：上岡悠騎

レゲエが響く炊事場。海のいえ

どんな集まりでも、必ず必要な係り食事班。目立たず究極の裏方役を承ったのは何と僅か2名のスタッフ。料理人こと厚治兄ちゃんと助手の弥生嬢です。

今回のNWMでこだわったのは大人数でも待たずに一緒にすぐ食べれる食事とゴミ減量。これしか無いと考えたのがBBQ。あの会場であの雰囲気でBBQやらなきゃどこでやる！て感じでした。そしてBBQって言ったらビール！飲むか飲まないか論議をしましたがビールサーバーを使用すれば容器はあるのでゴミ削減になると熱望により決定。また割箸を使わず竹細工の箸を使うことによりさらに削減の一石二鳥。結果、材料は余りましたがゴミの量は少なかったです。他、こだわりは沢山ありますが紙面の関係で伝えきれません。それから、準備の遅れにより当日は迷惑かけましたことを改めてこの場でお詫び申し上げます。そして、そのような情況でも快く手伝いや協力頂いた参加者の皆様に心より感謝を申し上げます。知ってる？食事の時に一緒に主もおられたんだって…ハレルヤ。

食事班：山本厚治

参加者の声

ミサについて

- 暑かったけどみんなと一つになれて良かったです。
- 奉納良かったです！感動しました。

テント泊

- 正直寝心地についてはどうかというのはあった。しかし、また新たないものが得られた。
- テントに行くまでの道のりが辛かったです。

食事に関して

- 野外といえば！！っていうテッパンねたですごく良かった。
- すごくおいしかった。バーベキューのときの肉の量にびっくりした。沢山あまったのが少しもったいないと思った。
- 特産品もわからず来ていたのでフルーツうれしかったです。とてもおもてなしの心を感じる食事でした。

自然を感じながら分かち合いをしました

司教様と一緒に分かち合い

今回の NWM では、1 日目と 2 日目でテーマを分けて分かち合いをしました。欲張りかとは思いましたが…自分たちの話したいこと、分かち合いたいことを選びました。

1 日目のテーマは『論語を通して、今の自分を振り返る』。講堂学習で学んだ「論語」について、感じたことや考えたことを分かち合いました。

2 日目のテーマは、『心を晴れやかに』。1 日目の夕の祈りで聞いた全国の司教様からの手紙のテーマについて、話をしました。分かち合いのテーマに選んだのは全部で 6 つ。（平和、児童虐待＆強制労働、食料、麻薬、自殺、若者の恋愛と性）

事前に各班のテーマを決め、1 つのテーマについて深めていきました。現代社会で起こっている問題に目を向けて、未来へ向けて今私たちにできることは？同世代の仲間たちと話をしました。

分かち合い班：門野葉

あれって夕の祈り？　でも夕の祈り！

今回は、皆が想像する夕の祈りとはちょっと違い新しい試みで 1 年前からガッツリ知恵出して、準備して本番はなんと 45 分間と超長めの尺でさせていただきました。夕の祈り班で、若者の麻薬、児童労働、自殺、若者の恋愛と性、食糧、環境、平和について（被爆教区からの核兵器問題、日本の中の富）計 7 つ、私達の周り、世の中で起こっている問題をキーワードとして挙げ、まず私達で分ち合いをして全国の司教様に手紙を送り、ランダムに 1 つキーワードに対する思いやメッセージをお願いしました。返信された手紙をふまえて参加者に投げかけたり日々の生活を振り返ってもらうような、各キーワード 5 分程度の文章を作成しました。

当日はキャンプファイヤーを囲んでナレーターが読むのを聴いてもらうスタイルで、自然と参加者の心に入っていくような雰囲気を作りたくて音楽（BGM）を使い演出しました。9 月中旬でしたが、予想外の凍えるような寒さの中、震えている私達に神さまが夜空にビックリするくらい素敵な満天の星空をプレゼントしてくれました。

結果、賛否両論あったかもしれませんがプログラムのほんの一部で、あまりピックアップされない夕の祈りの枠を、せっかくスタッフをするので今までに無い形で表現して「晴れルヤ」に繋げたいと思いました。私達のこの思いを準備段階から支えてくれたすべての人達に感謝しています　どうもありがとう　晴れルヤ!!

会場班：大水光次

参加者の声

・星空の下ゆっくりと時間をとれてよかった。
・正直、寒かった。内容はとてもよかった。色々考えさせてくれるような夕の祈りだった。

凛とダラッとチョップすてぃっく

正座でお勉強

会場となった閑谷学校には国宝があります。それがこの講堂です。ここでは江戸時代から論語の授業が行われていました。せっかくの機会ですし、昔から日本人の仲にある論語の精神を知り、カトリックの考えを知ってもらうのもいいだろうし、正座で講義を聴くことで気持ちも引き締まるのでは？と考え授業をしていただきました。さすがに 130 人が一堂に会し論語を読む様は圧巻でした。観光客の中には写真をとっている方もいたほどです。

また、国宝ということで、講堂への出入りの際の作法についてのお話や掃除など日本家屋での作法も知ることが出き、これも良い体験になりました。

講堂学習

その後の参加者との分かち合いでは、「足がしんどかった。」「授業みたいだった。」という声もありましたが珍しい体験ができたという話が多く出ました。論語とカトリックの比較についても、人を思いやるという点は似ている。など、色々と話が出来、とても良い時間になりました。　岡本大吾

自己紹介でも…しましょうか

講堂学習の後には、テント設営と並行してネットワークミーティングの大会中の食事で使う『竹のお箸』をグループごとに集まって作ってもらいました。この箸を作る時間は、どのグループにとっても初めてグループ一のメンバーとゆっくり話のできる時間になったようでした。お互い知らない人同士が集まっているため、最初はみんな緊張していたようですが、自己紹介などおしゃべりをしながらだんだん仲良くなり楽しい時間を過ごしてもらえたようです。

夕食用に箸を製作中

また参加者の中からは「竹を使って箸を作ったのは子供のころ以来で久し振りで楽しかった」「こんなことやったことなくていい体験になった」「難しかったけど自分の作った箸にはなんだか愛着が沸く」などの声もあり、参加者にとって普段の生活ではなかなか味わうことのできない貴重な体験となり喜んでもらえたようです。　岸井拓也

感想文

初めて参加したNWM

私は今回初めてNWMに参加しました。初めは知り合いも少なくて、1泊2日やっていけるのかどうか不安でした。ですが、国宝の閑谷学校で講堂学習をしたり、現代社会の問題について班で分かち合ったり、夜は交流会があったりと盛りだくさんの内容をこなしていくうちに、みんなとだんだん打ち解けてきてこの場所がとても居心地良くなってきました。むしろ、初めて顔を合わせるからこそ話す事が絶えなかった所もあったと思います。NWMの醍醐味は、全国から青年が集まる事だと思います。各地の情報交換や、交流がこんなに大規模にできる所は少ないと思います。私が友人になった一人に「全国でこんなに教会行事がんばってるんだね！！知らなかった、私もがんばろう！！」と言った子がいました。こんな風に、ひとりでも多くの人に感じてもらいたいと思いました。また、せっかくできた輪をこれからも繋いでいき、さらに新しく広げていくことでNWMの意義がもっと大きくなるんじゃないかと思いました。

準備は大変だけど…

9月20、21日に「第17回ネットワークミーティングin広島」が岡山県の閑谷学校で開催されました。

11月に実行委員会を立ち上げてから10ヶ月間。毎月1回集まり、全体会議をしてきました。それぞれの意見が飛び交い、時には言い合いになりそうになったり…。そしてそれぞれの意見も取り入れながら、今回のテーマ「晴れルヤ～こころを晴れやかに～」と2日間のプログラムが決定しました。テント建てや竹細工。そして講堂学習で論語を学んだり、夕の祈りに分かち合い。1泊2日では足りないくらいの盛りだくさんのプログラムとなりました。当日のみ手伝ってくれたスタッフを含め、約20名と少ない人数でしたが、参加者も手伝ってくれて本当にこういう集まりっていいなと思いました。参加者は125名と全国の青年、司教様や神父様、シスターも集まってくださいました。当日は良い天気に恵まれ、無事テントで寝ることもでき、感謝の2日間でした。

参加者の声　Q. 心は「晴れルヤ」になれましたか？

- 「晴れルヤ」→「明ルヤ」になりました。広島の人達とも色々話したりすることができて、また新しい発見やつながりを持つことができてスゴくうれしかったです。本当に有難うございました。
- いろいろな人に出会えて、友達もたくさんできた。「晴れルヤ」になれた。
- なれました。
- 全然知らない人とワイワイやるのってちょっと苦手なんです。なので交流会でちょっと疲れました。他は楽しかった。くもりのち晴れルヤ！
- 晴れルヤ！！すがすがしいです。
- テーマの説明が不十分だと感じました。心というより天気が「晴れルヤ」でよかったです。
- 台風
- 初めてのNWMでしたが、参加できてよかったです。とっても自然の中でいつもは出来ない事を経験してたくさんのお恵みをいただきました。このお恵みを自分の教区や小教区でいかせるように来週の日曜日から頑張りたいと思います。晴れルヤ！

次回のNWMは…

「耳をすませば ～Whisper of God～ 召命と感謝」

2010年2月20日（土）～ 2月21日（日）

日本カトリック神学院 福岡キャンパス

ブログを公開中！！「耳すまな日々」

http://nwm-fukuoka-2010.blog.so-net.ne.jp/

作成：第17回 ネットワークミーティング in 広島 実行委員会
カトリック広島司教区青少年情報センター
発行元：カトリック青年連絡協議会
http://www.catholicyouth.jp/
E-mail：info@catholicyouth.jp